

西の里

令和5年 4月 7日 第1号

発行者

北広島市立西の里小学校

校長 あい ざわ はじめ
相 澤 哉

【本年度の学校課題と重点】

「自立・共生する生き方」の基礎を身につけた児童の育成

【重点】挑戦と行動：自ら 考え 行動する 児童の育成

【小中一貫教育：西の里地区スタンダード】

～3つの「あ」～

挨拶(人を大切に)・安全(命を大切に)・後始末(物を大切に)

令和5年度のスタート 自分から みんなで

北広島市立西の里小学校長 相澤 哉

暖かな日が続き、春の息吹が感じられる季節となりました。

さて、本日より、新1年生50名を迎え、全校児童350名で新年度が始まりました。職員は、44名のスタッフで学校教育の推進にあたります。

引き続き、西の里の子どもたち一人一人を**中学校区として3つの「あ」**を大切に育てていきます。ご協力とご理解をお願いいたします。

小中一貫教育

◆西の里スタンダード◆

【スローガン】

笑顔、温もり、未来へつなげる里っ子バトン

【スタンダード】

3つの「あ」 挨拶 ～人を大切にする事

安 全 ～命を大切にする事

後始末 ～物を大切にする事

そして、小学校の目指す教育は、次の通りです。

「自立・共生する生き方」の基礎を身につけた児童の育成

これからますます複雑化する社会においても「自らの力で、周囲の人たちと力を合わせ、補い合いながら、たくましく、幸せに自分の生きる道をしっかりと歩いていける人に育ててほしい」という願いが込められています。

また、令和5年度の重点目標は、

自分から みんなで(一歩前へ)：自ら 考え 挑戦する 児童の育成

としました。キーワードは「**自分から みんなで(一歩前へ)**」です。

「自ら考え挑戦する児童を育成」していくためには、子どもたちが、「与えられたことをする」だけではなく、自分から考えて、判断し、進んで物事に取り組めるようにしていかなくてはなりません。昨年度、「挑戦と行動」をキーワードに教育活動に取り組みました。子どもたち一人一人が、前向きに多くの活動に向き合いました。

今年度は、自分から一歩前へ踏み出すとともに、仲間と協力したり支えあったりしながら集団としても高まっていく児童の育成を目指していきます。一歩踏み出すと思うようにいかないことも出てきます。思うようにいかなかった時に、起き上がる力や次につなげる力を身に付けることが、とても大切だとも考えています。そんな時は、ご家庭での励ましもぜひお願い致します。

今年度も子どもたち一人一人の着実な成長のために、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいきます。学校・家庭・地域が三位一体となって、子どもたちを見守り、育てていくことをお願いし、令和5年度の開始にあたってのご挨拶とさせていただきます。

「学校便り」メール配信へ！

これまで紙で配付してきた「学校便り」ですが、教育のDX化の流れを踏まえ、令和5年度から、安心メールを使ってのメール配信へと移行することといたしましたので、御了承ください。4月末の学校便りから配信します。また、これまで通り、HPでの掲載も行います。

【お願いとお知らせ】

- ①教育活動の紹介冊子「西の里小学校のしおり」は、今年度も西の里小学校HP(トップページ左上)に掲載することとしましたので、一年間通して御覧いただけると幸いです。
- ②これまでも保護者の皆様には守っていただいておりますが、校舎正面側(正門より奥の学校敷地内)への自家用車の乗り入れはできませんので、新1年生の御家庭におきましては御承知おき下さい。
(一部デイスアービス車両や了承済みの御家庭は除きます)
- ③午後6時30分から午前7時30分までの間は「転送電話サービス」の時間帯となり、学校の電話が繋がらなくなりますので御承知おき下さい。欠席や遅刻の連絡は専用フォームも活用ください。

